

首都圏本部

「ビジネスマナー勉強会」を開催

2月19日、東京統括センター 京葉乗務ユニットでは、(株)JR東日本サービスクリエーションから講師を迎え、「ビジネスマナー勉強会」を開催しました。事業本部化に向けた対外的なビジネス対応力強化のため、基本的なビジネスマナーを実践的に学びました。今回の内容を今後の業務に活かし、社員一人ひとりが主体的に活躍できる職場づくりを進めていきます。



横浜支社

神奈川・横浜プレDCを開催

2027年3～9月開催の「2027年国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027)」に合わせ、同年4～6月に「神奈川・横浜デザインেশョンキャンペーン (神奈川・横浜DC)」を行い、訪れた方に県内各地の魅力あるスポットへの周遊・誘致促進をめじます。キャッチコピーは神奈川=カナ、横浜=ハマを掛け合わせた「カナウネ ハマルネ」で、ロゴマークのカラフルな配色は「楽しいこと」があふれる場所であることを表現しています。2027年のDC期間に向けて、今年4～6月にプレDCを開催しています。ぜひご注目ください。



八王子支社

山梨統括センターで 車両のジャッキアップ訓練を実施

2月3日、山梨統括センター サービス品質改革ユニットでは、消防と連携し、甲府駅電留線において鉄道人身事故を想定した車両ジャッキアップ訓練を実施しました。訓練の一環として車両構造の解説や救助機材の紹介も行い、実践的で有意義な内容となりました。今後も継続して連携を深め、迅速な救助と早期運転再開をめざして取り組めます。



大宮支社

「餃子・シウマイライン エキタグスタンプラリー」を開催

1月9日～2月28日、大宮支社では横浜統括センターと連携し、「餃子・シウマイライン エキタグスタンプラリー」を開催しました。宇都宮駅・宇都宮PASEO・鹿沼駅および横浜駅・崎陽軒 横浜駅中央店をめぐる本企画では、限定デザインのスタンプが好評で、多くのお客さまにお楽しみいただきました。今後も流動促進を目的とした取り組みを進めていきます。



高崎支社

敷島駅前「猫の日フェスタ2026」を開催

2月22日、かつて「猫村」と呼ばれた敷島地区にちなみ、上越線敷島駅前「猫の日フェスタ2026」を開催しました。約2,400人が来場し、猫をテーマにしたフードや雑貨が並ぶマルシェのほか、地域の皆さまが演奏するステージなども大盛況でした。今後も地域とともに、さらに楽しんでいただけるイベントづくりに取り組んでいきます。



水戸支社

車両撮影会 「常磐線を支える車両たち」を開催

2月7～8日、E501系 (10両編成)・E501 SAKIGAKE・E531系 (5両編成)・E531系赤電ラッピング車の4編成を展示した撮影会を開催しました。入出区車両による、内原駅から内原電留線までの乗車体験や、希望の行先を表示した行先表示器の撮影などを実施し、参加者の方からは「貴重な体験ができて良かった」と感想をいただきました。8日は雪が舞う中、さらに特別感のあるイベントとなりました。



千葉支社

館山の海辺で“たゆたう” 新しいホテルが開業

12月17日、TAUTAU Terrace Tateyama (タウトウテラス館山) が開業しました。館山の夕日をイメージした「サンセットイエロー」をキーカラーとして、旧ホテルファミリーオ館山を全面リニューアル。海に面した公園のようなテラスや、屋内外で楽しめるフリードリンク&スナック、地元食材を味わうレストランなど、南房総の海と夕日を眺め、時間を忘れて“たゆたう”等身大のリゾートを提供します。



長野支社

信州大学と連携した事業提案報告会を開催

2月17日、松本駅構内に留置中の「リゾートビューふるさと」車内で、観光人材育成を目的とした当支社と信州大学との連携事業「価値創造実践ゼミ」の事業提案報告会を開催しました。開講6年目の2025年度は、「2027年信州デスティネーションキャンペーン(信州DC)でお客さまに提供すべき価値の創出」をテーマに、松本周辺を軸にした観光分野の新たな提案づくりに取り組みました。当日は学生による4チームが発表し、提案内容は今後の信州DCでの活用を検討していきます。



東北本部

「仙石線リニューアル記念式典」を実施

3月14日、多賀城駅で「仙石線リニューアル記念式典」を開催しました。仙石線は、同日のダイヤ改正よりすべての車両が205系から新型車両E131系へ置き換わり、ワンマン運転を開始。また、あおば通～多賀城間の日中時間帯の列車本数を大幅増発し、利便性が大きく向上しました。当日は、多賀城市の深谷晃祐市長にも参加いただき、仙石線の新たな門出を祝いました。今後も地域の皆さまと連携し、沿線価値の向上に取り組んでいきます。



盛岡支社

盛岡支社発の生成AI「Qast」活用で 「いわてDX大賞2025」優秀賞を受賞

1月26日、社内ナレッジを蓄積・共有するためのクラウド型生成AIツール「Qast」を活用した取組みが、「いわてデジタルトランスフォーメーション(DX)大賞2025」で優秀賞を受賞しました。“誰かのために調べたこと”が未来の仲間を助けるという仕組みで、導入前と比べて調査時間78%減、超過勤務45%減、ID数は50名から5,000名に拡大。ユーザーの投稿やひと言メモが、別のユーザーの力になります。「Qast」を利用して“思いやり”を“見える化”します。



秋田支社

秋田県と連携して 「こまち就活エクスプレス」を共同開催

12月26日、当支社では帰省時期に合わせ、秋田県と連携した「こまち就活エクスプレス」を初めて実施しました。秋田新幹線「こまち」の16・17号車を貸切として、県外に進学した大学生46名が当社を含む県内企業10社との対話を行うとともに、学生同士の交流も活発に行われました。「コスパ・タイパが最強のイベントだった」との声もいただき、帰省の時間を有効活用できるイベントとなりました。



新潟支社

OB会 新潟地方本部との意見交換を実施

12月3日、当支社では東日本鉄道OB会 新潟地方本部と評議員会および協力懇談会を行いました。OB会主催の評議員会では、新潟地方本部の加藤会長・代表支部長など11名と当支社幹部が意見交換を実施。また当支社主催の協力懇談会では、評議員会出席のOB会メンバーに各支部長を加えた19名の皆さまへ、日頃の感謝をお伝えするとともに、「勇翔2034」などの概要説明および情報交換を行いました。



「2025年度鉄道技術フォーラム」を開催

2月5～6日、電気システムインテグレーションオフィスと東京建設プロジェクトマネジメントオフィスとの共催で、「2025年度鉄道技術フォーラム」をJR目黒MARCビルにおいて開催しました。2025年度は、プロジェクト、新事業、DXや技術開発の取組みなどの会場でのパネル展示を中心に行い、社内外から延べ約1,900名の方にご来場いただきました。



福島派出を北部に移転によりワンフロア化

3月2日、東北建設プロジェクトマネジメントオフィスの南東北プロジェクトセンター 福島派出が福島駅の南部から北部へ移転しました。これに伴い、福島北部幹線現業事務所がワンフロア化されました。東北本部と当オフィスの機関が同じフロアで執務することで、現場対応の迅速化や情報共有の質の向上を図っていきます。移転した福島派出を新たなスタート地点として、地域に寄り添うライフスタイル・トランスフォーメーション(LX)の実現に向け、前向きに挑戦を続けていきます。



「2025年度 みんなでセキュリティアワード」を受賞

(株)JR東日本びゅうツーリズム&セールスの情報セキュリティの取組みが、JR東日本の「2025年度みんなでセキュリティアワード」を受賞し、感謝状が授与されました。約800台の社内PCの老朽取替が契機となり、セキュリティ対策の強化と意識向上が進み、内部統制の向上に寄与しました。今回の受賞を励みとして、これからも社員一丸となり情報セキュリティ向上に取り組めます。



「LOOP FES “AN つなぐ、つくる、体験する。SDGs ワークショップ」を開催

2月21～23日、盛岡駅ビル「フェザン」では、環境・社会問題への取組みの一環として、気軽に参加できるSDGsイベントを開催しました。フェザンのショップによる体験型のワークショップや化粧品回収によってアップサイクルされたクレヨンを使ったお絵描きブースなど、楽しみながらSDGsについて学べるイベントとなりました。



缶詰博士をお迎えして「東京サピアコミュニティ」を開催

2月20日、東京駅隣接の「サピアタワー」(当社運営)に入居するテナント同士の交流を目的としたイベント「東京サピアコミュニティ」を開催しました。今回は、缶詰博士 黒川 勇人氏をお迎えし、缶詰開発の裏話やお酒との相性についてお話いただきました。イベントで提供したお酒はJRE MALLや「のもの」から仕入れたほか、「はこびュン」を使って運んだ朝詰めの日本酒も用意し、参加者の皆さまから好評をいただきました。



JR東日本初！ 駅から外へ持出可能な車いすのレンタル開始

2月1日、JR東日本と(株)ジェイアール東日本企画が連携して、JR東日本エリアで初となる予約可能な「車いすレンタルサービス by ベビカル」を国分寺駅・府中本町駅で開始しました。当サービスの利用環境拡充に取り組みながら、対象駅の拡大も進めていきます。今後も、どなたでも安心して外出できる社会の実現をめざします。

